

会 議 録

会 議 の 名 称	平成24年度 子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第3回）
開 催 日 時	平成25年3月19日（火） 午前10時から午前11時30分まで
開 催 場 所	市役所第二庁舎1階 会議室1
出 席 者	荻野 記代子 高橋 靖子 須田 邦彦 荒井 マサ子 齋藤 規容子 松崎 許子 安立 美智子 田家 正好 清水 裕子 入山 尚浩 阿保 資江美 下田 浩 小山 忠彦 森田 和憲 栗山 健司 井上 裕 池田 秋義 計17名
事 務 局 職 員	生涯学習課 富樫主査、藤田主事
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 東野小学校、石神小学校事業報告について ア 新座市子どもの放課後居場所づくり事業報告 イ 東野ココフレンド・石神ココフレンド活動報告 ウ アンケートの分析及び今後の課題 (2) 新年度事業計画について ア 新座市子どもの放課後居場所づくり事業計画 イ 新規開設校進捗状況及び予定 ウ 運営委員会今後のスケジュール (3) その他 4 閉会

会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料 1 平成 2 4 年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業報告 2 平成 2 4 年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業学年別登録者数 3 東野ココフレンド・石神ココフレンド参加人数 4 東野ココフレンドだより 5 石神ココフレンドだより 6 平成 2 4 年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業アンケート集計結果【東野小学校及び石神小学校】 7 平成 2 5 年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業事業計画 8 平成 2 5 年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業～石神ココフレンド 申込案内～ 9 平成 2 5 年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 学年別登録者数 10 東野・新堀ココフレンドの進捗状況及び予定 11 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会今後のスケジュール
そ の 他 の 必 要 事 項	特になし

審 議 の 内 容 （審議経過、結論等）

1 開会（司会：藤田主事）

2 挨拶（小山教育総務部長）

3 議事（進行：小山教育総務部長）

(1) 東野小学校、石神小学校の事業報告について

【資料1頁～10頁】

ア 新座市子どもの放課後居場所づくり事業報告について【資料1頁～4頁】

（報告：富樫主査）

資料に基づき報告。

各ココフレンドの登録児童数は、前回会議で報告した人数から若干増えた。高学年の登録が少ない傾向は変わらない。

参加児童数は、2学期以降20～40名の参加があった。冬休み期間中の前半は10～20名の参加があったが、年明け後は参加児童数は減少している。

イ 東野ココフレンド・石神ココフレンド活動報告【資料5頁～8頁】

（報告：田家コーディネーター、阿保コーディネーター）

田家コーディネーター

子どもたちは、学習をしてから遊ぶというパターンが身に付いた。

地域のスタッフに読み聞かせや折り紙、キャラクター描き、体操、非行防止の寸劇など、得意なことを活かして子どもたちに還元してもらっている。

子どもたちが学校林でどんぐりや松ぼっくりをたくさん拾ってきた時、これを活かさないかとスタッフと共に考え、クリスマスリース作りを行った。長期休業中だからできることをやってみたが、子どもたちには大変好評であった。

「明日は習い事があるからココフレンドをお休みするね」と声を掛けてくれる子もおり、ココフレンドが子どもたちの居場所になっていると感じている。

阿保コーディネーター

夏休み期間中は、図書室開放でのしおり作りや俳句教室、大学生の参加等があった。また、万引き防止の寸劇や下校時の安全指導等も実施した。3月28日には、和太鼓体験を予定している。

市内には大学があるため、子どもとかかわる学部と生涯学習課との交流があると良いと思う。

除籍本を学校からお借りして、11月から「ココフレンド文庫」を始めた。

インフルエンザが流行していた時期は学級閉鎖があり（特に1年生）、参加児童数が減ったが、今は戻りつつある。

子どもたちは、今では学習する習慣が身に付いた。

上級生が下級生の仲裁に入ったり、宿題を見てあげたり、面倒を見ている。

参加カードが4枚目、5枚目になった子もいる。

ケガもほとんどない。

ウ アンケートの分析及び課題【資料 9 頁・10 頁】（説明：富樫主査）

10 月に、東野・石神ココフレンド登録児童の保護者を対象にアンケート調査を実施し、前回会議で結果を報告したが、今回はその分析結果について説明する。分析結果は以下のとおり。

設問(1)ココフレンドに参加させている理由

→「学校施設内で安心だから」が 287 人と最も多く、「スタッフが見守っていてくれて安心だから」との回答も 222 人と多かった。このことから、本事業の趣旨とする「子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所の提供」の効果があつた。

「子どもが参加したいというから」が 252 人と 2 番目に多く、子どもたちの主体的な参加がうかがえ、本事業の趣旨である「自分で考え行動する」という自主性を育てる効果があつた。

「宿題など学習をする時間をとってくれるから」も 215 人の回答があり、保護者からの一定の評価が得られた。

設問(2)ココフレンドへの参加回数

→学期に 1 回、月に 1 回、週に 1 回程度という回答が 7 割を占める中、現代の小学生は習い事や塾などで忙しいにも関わらず、「週 2～3 回程度」、「ほぼ毎日参加している」という週に複数回参加する子どもも 2 割弱おり、参加率は低くはなかった。

設問(3)どんなときに、ココフレンドに参加しているか

→「お子さんが行きたいというとき」が 305 人と最も多く、本事業の趣旨である「自分で考え行動する」という自主性を育てる効果があつた。

「通常の帰宅時間に家庭を留守にしているとき」が 166 人と 2 番目に多く、親がいない時の子どもの居場所として利用されていた。

設問(4)ココフレンドに参加するようになって、良かったと思うこと

→233 人と最も多い「友だちと遊ぶ機会が増えた」や 128 人の回答があつた「異学年の子どもたちと一緒に遊ぶ機会ができた」が上位を占め、本事業の趣旨である「社会性や協調性を身に付ける」効果があつた。

「宿題を早く済ませるようになった」が 151 人と 2 番目に多く、宿題を済ませる習慣が身に付いたことも評価されている。

設問(5)ココフレンドでどのように過ごしてほしいか

→「思い切り体を動かして遊んでほしい」が 346 人と最も多く、本事業の趣旨である「子どもたちが安全で安心して活動できる居場所の提供」の効果があつた。

設問(6)の意見、感想（抜粋）

→本事業は、子どもたちの主体的な勉強や遊びの場を提供するものであり、イベント型の事業ではない。平成 25 年度の申込案内には、本事業はイベント型ではなく参加型であることなど、事業趣旨を平成 24 年度のものよりもわかりやすく記載した。

保護者の責任の下、祖父母や兄・姉等のお迎えによる途中帰りを認めることとした。（平成 25 年 2 月 1 日付けで東野小、石神小の登録児童の保護者宛てに通知済み。）なお、一人での途中帰りは認めていないため、その点は今後の課題である。

保護者のお迎えマナーについては、ココフレンドだよりや平成 25 年度の申込案内にも記載し、引き続き周知を図っていく。

本事業は、保育を目的とするものではなく、放課後の子どもたちのための安全で安心な居場所の提供であり、夏休み等の長期休業中の活動は、子どもたちが規則正しい生活を送れるよう生活リズムを考え、午前８時３０分から正午までの活動としている。

日没の早い１０月から翌年１月までは、冬時間として放課後から午後４時３０分までの活動としている。活動終了後、集団帰りをする子どもたちも多く、日が暮れてからの下校は危険であるため、１０月から翌年１月の期間は、引き続き活動時間を午後４時３０分までとする。

各実行委員会で出たココフレンド事業の運営に関する意見

①お盆やお正月は家族で過ごすべきではないか。参加人数も少ないため、休みにしてもよいのではないか。また、この期間中に業務を行うスタッフを気遣う意見もあった。

②長期休業中の活動開始時間を遅らせることはできないか。午前８時３０分からココフレンドを開始するためには、午前８時１５分には準備を始めなければならない。学校に早めに鍵を開けてもらうことが負担になっていないか心配である。

校 長 長期休業中の活動は長時間労働になるため、お盆や年始の休みは必要だと思う。

子どもたちの生活習慣を考慮すると午前８時３０分からの開始が良いと思う。昨年の長期休業中は日直が午前８時２５分頃に出勤し、ココフレンドの準備ができず、迷惑をかけた。今後、早めに職員を出勤さるよう学校も対応していきたいと思っている。

委 員 お盆休み等、具体的な日程は決まっているのか。

事務局 土日などに当たる可能性もあるが、お盆休みは８月１３日から１５日まで、年始休みは４日から８日までを想定している。

コーディネーター スタッフが午前８時１５分に来て準備をするために、コーディネーターは午前８時頃には出勤しなければならない。学校の厚意で８時３０分から開始できるのに、８時頃の出勤となると、学校にプレッシャーを与えてしまうのではないか。学童は独立しているが、ココフレンドは学校施設をお借りしている。セキュリティの問題もある。

委 員 何人かのスタッフに事業開始当初、「あなたは誰？というような目で見られた。ココフレンドの活動を学校の先生はきちんと理解しているのか疑問に感じた」と聞いた。コーディネーターの方々がおっしゃることにもつながるのではないかと思う。

また、学校開放団体は体育館等を自分たちで開けられるようになっていると思うがココフレンドはだめなのか。

事務局 学校開放団体も全てのセキュリティ解除ができるわけではない。また、セキュリティ解除は学校で行っていただきたいと思っている。

モデル校の事業開始当初は事務局からの周知不足で学校からの理解が足りなかったようで申し訳ない。しかしながら、現在は御理解をいただいていると思っている。

コーディネーター 学校の厚意でココフレンドを行うというスタイルをみんなにわかってもらいたいと思う。

校 長 学校とココフレンドとで時にすれ違いがあることを御理解いただきな

がら、できる限り協力していきたい。

コーディネーター 学校が外部の人間にセキュリティを勝手に解除されるのは嫌だと思う。また、学校にセキュリティ解除のために、早く出勤していただくのも心苦しさを感じる。学校の厚意にだけ頼るのはどこかで歪みが生じるのではないと思う。

委員 スタッフや保護者への説明はあったが、学校の先生方へのコンセンサスも必要だと思うが、今後予定をしているか。

事務局 今後の検討課題とさせていただく。

(2) 新年度事業計画について【資料 1 1 頁～1 6 頁】(説明：富樫主査)

ア 新座市子どもの放課後居場所づくり事業計画【資料 1 1 頁～1 5 頁】

資料に基づき説明。

既存校の新 2 年生から新 6 年生は 4 月 1 日から、新 1 年生は 5 月 7 日から事業開始予定である。

4 月 1 6 日に新規校のスタッフ向けにスタッフ研修会を予定している。

新規校は 5 月 2 7 日から事業開始予定である。

運営委員会、実行委員会は共に年 3 回の開催を予定している。

既存校については、2 月下旬に申込案内を配布し、3 月 6 日から 8 日で受付を行った結果、平成 2 4 年度と同程度の申込みがあった。また、既存校の新 1 年生向けに新入学児童保護者説明会において、事業説明を行った。

イ 新規開設校進捗状況及び予定【資料 1 6 頁】

資料に基づき説明。

広報にいざ 2 月号でスタッフを募集したところ、東北ココフレンド 1 4 名、新堀ココフレンド 5 名の応募があった。

2 月下旬には新規校のコーディネーターも決定した。

3 月下旬以降、スタッフルームの整備や申込案内の配布、保険加入手続き、登録児童及び保護者を対象としたオリエンテーションを実施していく予定である。

新堀小学校については、夏休み期間中に大規模改修を予定しているため、ココフレンドの活動は行わない予定である。

また、東北小学校についても秋に体育館の改修工事が予定されているため、ココフレンドの活動場所が限られるが、こちらは活動を実施していく予定である。

委員 平成 2 5 年度の新規校の予定を伺ったが、今後の事業計画があったら教えてほしい。

事務局 市内全 1 7 小学校にココフレンドを設置することをスタンスとしているが、学校施設のスペースの確保が課題となっている。また、学童保育とのバランスも考慮し、事業イメージを具体化していきたいと考えている。

委員 既存校のスタッフも対象とした研修を行ってはどうか。

事務局 今後実施が必要だと考えている。

委員 各ココフレンドがどのような活動をしているのか知りたいので、ココフレンドだよりを運営委員会の委員にも定期的に送付してほしい。

事務局 今後、運営委員にも送付するようにする。(実行委員には定期的に送付している。)

コーディネーター 1 年生は集団下校の関係もあるため、町内会に御協力を頂いて、ココフ

レンドを周知する回覧をした方がよい。

事務局 モデル校開設の際も町内会に御協力を頂き回覧を行った。今回も御協力頂きたいと思う。

新堀ココフレンドのスタッフがまだ不足している状況である。委員の皆様からもお声かけをお願いしたい。

ウ 運営委員会今後のスケジュール【資料１６頁】

資料に基づき説明。

５月１４日（火）を第１回運営委員会とし、年３回の会議開催を予定している。

(3) その他（説明：富樫主査）

平成２５年度第１回運営委員会は５月１４日（火）午前に開催予定

委員 運営委員の任期はあるのか。

事務局 現在委員をお引き受けいただいている委員の皆様の任期は、平成２６年３月末日までである。

４ 閉会（司会：藤田主事）